

「川崎市の人口（独自集計編②）」を刊行しました

総務省から公表された平成 27 年国勢調査（平成 27 年 10 月 1 日現在）結果のうち、世帯構造等基本集計（世帯主と世帯員、母子・父子世帯、親子の同居など）、従業地・通学地による抽出詳細集計及び抽出詳細集計（産業・職業など）について、本市独自に地域や項目を細分化して集計した結果等をまとめた「川崎市の人口(独自集計編②)」を刊行しました。なお、この内容については、本日、川崎市ホームページに公表します。

◎ 結果の概要

- 1 世帯当たり人員は減少が続く（冊子 1 ページ）
- 最年長が 18 歳未満の子供がいる世帯数の割合が最も高い学区は麻生区はるひ野（冊子 6 ページ）
- 鉄道沿線の町丁で「通勤のみの世帯」、鉄道から離れた町丁で「高齢者のみの世帯」の割合が高い（冊子 21 ページ）
- 幸区、中原区で従業している就業者の産業は、全国と比べ、「情報通信機械器具製造業」の割合が著しく高い（冊子 30 ページ）
- 幸区、中原区、高津区、宮前区、多摩区に常住している就業者の職業は、全国と比べ、「システムコンサルタント・設計者」の割合が高い（冊子 115 ページ）



1 世帯当たり人員は減少が続く

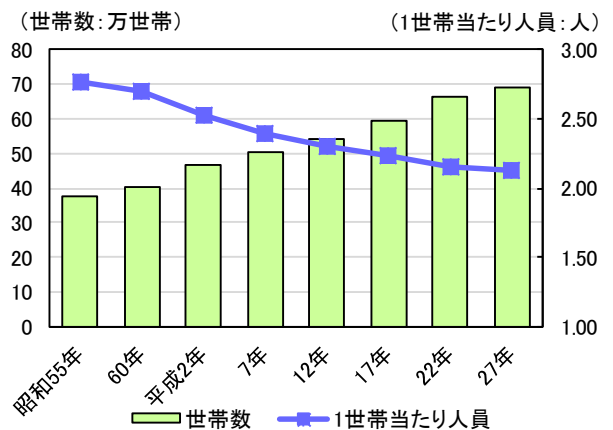
平成 27 年 10 月 1 日現在の世帯数は 691,837 世帯となり、前回調査（平成 22 年）から 4.4% 増加し、世帯数の増加率は世帯人員（人口）の増加率の 3.5% を上回っています。昭和 55 年以降、世帯数は増加を続けており、世帯数の増加率が世帯人員の増加率を一貫して上回っているため、1 世帯当たり人員は減少が続いています。（表 1、図 1）

表 1 世帯数及び世帯人員の推移

年次	世帯数	世帯人員 (人口)	1世帯 当たり人員
実数			
昭和 55 年	376 690	1 040 802	2.76
60 年	404 762	1 088 624	2.69
平成 2 年	466 084	1 173 603	2.52
7 年	503 711	1 202 820	2.39
12 年	543 088	1 249 905	2.30
17 年	595 513	1 327 011	2.23
22 年	662 694	1 425 512	2.15
27 年	691 837	1 475 213	2.13
増加率 (%)			
昭和 60 年	7.5	4.6	△ 0.07
平成 2 年	15.2	7.8	△ 0.17
7 年	8.1	2.5	△ 0.13
12 年	7.8	3.9	△ 0.09
17 年	9.7	6.2	△ 0.07
22 年	11.3	7.4	△ 0.08
27 年	4.4	3.5	△ 0.02

(注)総数には世帯の種類「不詳」を含みます。1世帯当たり人員の増加率はその年の人員と前回の人員の差(人)です。

図 1 世帯数と 1 世帯当たり人員の推移



最年長が18歳未満の子供がいる世帯数の割合が最も高い学区は麻生区はるひ野

施設等の世帯を除いた一般世帯のうち、最年長の子供が18歳未満の世帯が占める割合を学区別にみると、小学校区で割合が最も高いのは麻生区のはるひ野小学校区の40.1%で、次いで川崎区の渡田小学校区(29.2%)、川崎区の東門前小学校区(27.5%)となっています。

中学校区で割合が最も高いのは麻生区のはるひ野中学校区の40.1%で、次いで同区の白鳥中学校区(24.0%)、麻生中学校区(23.7%)となっており、麻生区の中学校区が上位を占めています。(表2)

表2 最年長が18歳未満の子供がいる世帯数の割合上位5学区

《小学校区》			
順位	区	小学校区	割合(%)
1	麻生区	はるひ野	40.1
2	川崎区	渡田	29.2
3	川崎区	東門前	27.5
4	中原区	下小田中	27.5
5	麻生区	片平	26.3

(注)割合は「不詳」を除いて算出しています。

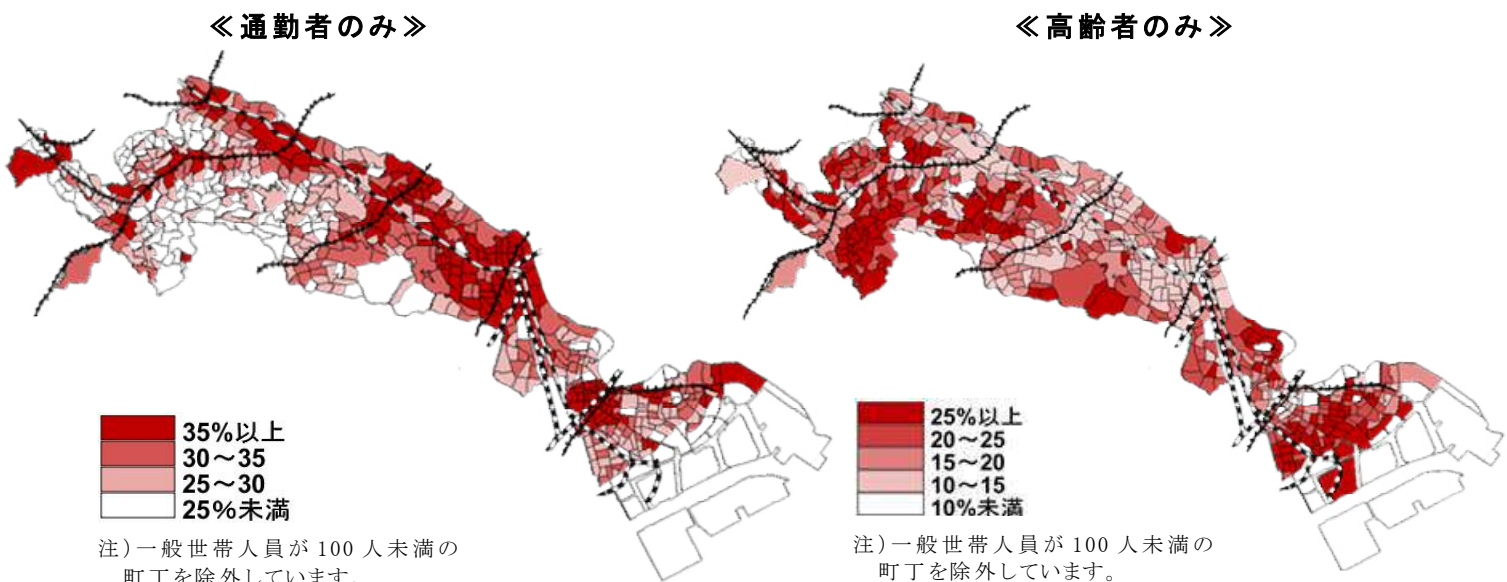
《中学校区》			
順位	区	中学校区	割合(%)
1	麻生区	はるひ野	40.1
2	麻生区	白鳥	24.0
3	麻生区	麻生	23.7
4	川崎区	臨港	21.6
5	川崎区	大師	21.4

(注)割合は「不詳」を除いて算出しています。

鉄道沿線の町丁で「通勤のみの世帯」、 鉄道から離れた町丁で「高齢者のみの世帯」の割合が高い

従業・通学時の世帯の状況を町丁別にみると、「通勤者のみの世帯」の割合は、鉄道沿線、特に東京都区部方面とつながる路線沿線の地域で高く、「高齢者のみの世帯」は鉄道沿線から離れた地域で高いことがわかります。(図2)

図2 従業・通学時の世帯の状況別割合



幸区、中原区で従業している就業者の産業は、全国と比べ、「情報通信機械器具製造業」の割合が著しく高い

本市で従業している15歳以上就業者数は526,970人(男性315,430人、女性211,540人)となっています。区ごとの産業中分類別の特化係数(※)をみると、川崎区の「石油製品・石炭製品製造業」、幸区及び中原区の「情報通信機械器具製造業」が全国と比較して著しく高くなっています。また、幸区及び中原区は「情報サービス業」及び「学術・開発研究機関」、宮前区及び多摩区は「郵便業(信書便事業を含む)」、麻生区は「業務用機械器具製造業」が高くなっています。(表3)

表3 特化係数の高い産業中分類(上位5産業)

川崎市		順位	川崎区		順位	幸区		
産業中分類	特化係数		産業中分類	特化係数		産業中分類	特化係数	
1	情報通信機械器具製造業	7.49	1	石油製品・石炭製品製造業	23.78	1	情報通信機械器具製造業	21.63
2	石油製品・石炭製品製造業	6.74	2	鉄鋼業	7.17	2	情報サービス業	7.27
3	情報サービス業	3.90	3	倉庫業	6.74	3	電子部品・デバイス・電子回路製造業	5.97
4	郵便業(信書便事業を含む)	2.65	4	郵便業(信書便事業を含む)	4.55	4	学術・開発研究機関	5.08
5	学術・開発研究機関	2.63	5	運輸に附帯するサービス業	4.51	5	業務用機械器具製造業	3.25
中原区		順位	高津区		順位	宮前区		
産業中分類	特化係数		産業中分類	特化係数		産業中分類	特化係数	
1	情報通信機械器具製造業	18.33	1	情報通信機械器具製造業	3.71	1	郵便業(信書便事業を含む)	4.61
2	情報サービス業	8.38	2	業務用機械器具製造業	3.36	2	物品賃貸業	2.36
3	学術・開発研究機関	4.17	3	学術・開発研究機関	3.11	3	不動産業	2.34
4	鉄道業	2.10	4	情報サービス業	2.80	4	協同組合 (他に分類されないもの)	2.22
5	不動産業	2.03	5	電気機械器具製造業	2.71	5	その他の教育、学習支援業	1.84
多摩区		順位	麻生区		順位	※ 特化係数は、全国の割合に対する本市(区)の割合で、1を超えると集積が高いことを示す。		
産業中分類	特化係数		産業中分類	特化係数				
1	郵便業(信書便事業を含む)	3.09	1	業務用機械器具製造業	2.60			
2	不動産業	2.29	2	不動産業	2.35			
3	その他の教育、学習支援業	1.99	3	専門サービス業 (他に分類されないもの)	1.99			
4	学校教育	1.97	4	その他の教育、学習支援業	1.96			
5	飲食物品小売業	1.66	5	技術サービス業 (他に分類されないもの)	1.94			

注) 順位は「分類不能の産業」を除く。

高津区、宮前区、多摩区、麻生区で従業している就業者の職業は、全国と比べ、「音楽家、舞台芸術家」の割合が高い

本市で従業している就業者の職業中分類別の特化係数を区ごとにみると、川崎港がある川崎区は甲板員、船舶技士・機関員などが含まれる「その他の輸送従事者」が高く、幸区及び中原区は「技術者」、「研究者」、「鉄道運転従事者」、高津区、宮前区、多摩区、麻生区は「音楽家、舞台芸術家」が高くなっています。また、川崎区、幸区、中原区、高津区は「研究者」が上位2位に入っており、高津区及び多摩区は「著述家、記者、編集者」も高くなっています。(表4)

表4 特化係数の高い職業中分類（上位5職業）

川崎市		順位	川崎区		順位	幸区	
職業中分類	特化係数		職業中分類	特化係数		職業中分類	特化係数
1 研究者	2.77	1	その他の輸送従事者	3.67	1	技術者	5.54
2 技術者	2.62	2	研究者	3.06	2	研究者	4.82
3 音楽家、舞台芸術家	2.10	3	運輸・郵便事務従事者	2.28	3	鉄道運転従事者	4.45
4 居住施設・ビル等管理人	2.00	4	定置・建設機械運転従事者	2.13	4	生産関連・生産類似作業従事者	1.58
5 鉄道運転従事者	1.61	5	技術者	1.93	5	生産関連事務従事者	1.57
中原区		順位	高津区		順位	宮前区	
職業中分類	特化係数		職業中分類	特化係数		職業中分類	特化係数
1 技術者	4.50	1	音楽家、舞台芸術家	2.38	1	音楽家、舞台芸術家	3.19
2 研究者	4.13	2	研究者	2.11	2	居住施設・ビル等管理人	2.93
3 鉄道運転従事者	3.68	3	技術者	1.94	3	その他の専門的職業従事者	2.14
4 居住施設・ビル等管理人	2.79	4	居住施設・ビル等管理人	1.92	4	保健医療サービス職業従事者	2.12
5 事務用機器操作員	1.60	5	著述家、記者、編集者	1.77	5	その他のサービス職業従事者	1.90
多摩区		順位	麻生区		順位		
職業中分類	特化係数		職業中分類	特化係数		職業中分類	特化係数
1 音楽家、舞台芸術家	5.72	1	音楽家、舞台芸術家	5.67			
2 居住施設・ビル等管理人	2.90	2	居住施設・ビル等管理人	2.48			
3 著述家、記者、編集者	2.79	3	その他のサービス職業従事者	2.42			
4 美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者	2.24	4	その他の専門的職業従事者	2.34			
5 外勤事務従事者	2.05	5	保健医療サービス職業従事者	2.33			

(注1) 順位は「分類不能の職業」を除く。
(注2) 就業者数が100人以下の区分を除く。



川崎区、幸区に常住している就業者の産業は、全国と比べ、「石油精製業」及び「航空運輸業」の割合が高い

本市に常住している15歳以上就業者数は675,460人(男性391,540人、女性283,920人)となっています。区ごとに産業小分類別の特化係数をみると、川崎区及び幸区は「石油精製業」及び「航空運輸業」が高くなっています。また、高津区、宮前区、多摩区、麻生区は「映像・音声・文字情報制作に付随するサービス業」が高くなっています。(表5)

表5 特化係数の高い産業小分類（上位5産業）

川崎市		順位	川崎区		順位	幸区	
産業小分類	特化係数		産業小分類	特化係数		産業小分類	特化係数
1 ソフトウェア業	4.07	1	石油精製業	10.72	1	石油精製業	6.38
2 石油精製業	3.97	2	航空運輸業	5.10	2	通信機械器具・同関連機械器具製造業	4.78
3 通信機械器具・同関連機械器具製造業	3.95	3	鉄鋼業	4.40	3	航空運輸業	4.61
4 電子計算機・同附属装置製造業	3.68	4	化学工業製品製造業	3.97	4	ソフトウェア業	4.28
5 インターネット付随サービス業	3.58	5	ソフトウェア業	3.29	5	映像・音響機械器具製造業	3.74
6 映像・音声情報制作業	3.58						
中原区		順位	高津区		順位	宮前区	
産業小分類	特化係数		産業小分類	特化係数		産業小分類	特化係数
1 電子計算機・同附属装置製造業	6.70	1	映像・音声・文字情報制作に付随するサービス業	5.71	1	映像・音声・文字情報制作に付随するサービス業	5.71
2 通信機械器具・同関連機械器具製造業	6.10	2	興行場(別掲を除く)、興行団	5.11	2	金融商品取引業、商品先物取引業	4.97
3 広告制作業	5.65	3	インターネット付随サービス業	4.70	3	映像・音声情報制作業	4.74
4 ソフトウェア業	5.42	4	映像・音声情報制作業	4.46	4	通信機械器具・同関連機械器具製造業	3.88
5 インターネット付随サービス業	4.56	5	広告制作業	4.40	5	経営コンサルタント業、純粋持株会社	3.58
多摩区		順位	麻生区		順位		
産業小分類	特化係数		産業小分類	特化係数		産業小分類	特化係数
1 インターネット付随サービス業	4.46	1	興行場(別掲を除く)、興行団	5.11			
2 映像・音声情報制作業	4.15	2	各種商品卸売業	5.01			
3 ソフトウェア業	4.14	3	映像・音声・文字情報制作に付随するサービス業	4.42			
4 興行場(別掲を除く)、興行団	3.87	4	金融商品取引業、商品先物取引業	3.82			
5 映像・音声・文字情報制作に付随するサービス業	3.57	5	経営コンサルタント業、純粋持株会社	3.67			

(注1) 順位は「分類不能の産業」を除く。
(注2) 就業者数が100人以下の区分を除く。



**幸区、中原区、高津区、宮前区、多摩区に常住している就業者の職業は、
全国と比べ、「システムコンサルタント・設計者」の割合が高い**

本市に常住している就業者の職業小分類別の特化係数を区ごとにみると、幸区、中原区、高津区、宮前区、多摩区で「システムコンサルタント・設計者」が高く、特に中原区で著しく特化しています。また、川崎区は「クレーン・ウインチ運転従事者」及び「船内・沿岸荷役従事者」、幸区、中原区、高津区、多摩区は「ソフトウェア作成者」及び「その他の情報処理・通信技術者」、宮前区、多摩区、麻生区は「音楽家」及び「舞踊家、俳優、演出家、演芸家」が高くなっています。(表6)

表6 特化係数の高い職業小分類（上位5職業）

順位	川崎市		順位	川崎区		順位	幸区	
	職業小分類	特化係数		職業小分類	特化係数		職業小分類	特化係数
1	システムコンサルタント・設計者	4.12	1	クレーン・ウインチ運転従事者	4.83	1	システムコンサルタント・設計者	4.64
2	その他の情報処理・通信技術者	3.82	2	船内・沿岸荷役従事者	4.20	2	その他の情報処理・通信技術者	3.32
3	舞踊家、俳優、演出家、演芸家	3.81	3	その他の事務用機器操作員	4.11	3	自然科学系研究者	3.27
4	音楽家	3.80	4	他に分類されない輸送従事者	3.88	4	舞踊家、俳優、演出家、演芸家	3.23
5	ソフトウェア作成者	3.54	5	製鉄・製鋼・非鉄金属製錬従事者	3.77	5	ソフトウェア作成者	3.19
順位	中原区		順位	高津区		順位	宮前区	
	職業小分類	特化係数		職業小分類	特化係数		職業小分類	特化係数
1	システムコンサルタント・設計者	5.58	1	音楽家	6.64	1	舞踊家、俳優、演出家、演芸家	5.48
2	その他の情報処理・通信技術者	5.29	2	その他の情報処理・通信技術者	4.15	2	音楽家	4.42
3	ソフトウェア作成者	5.05	3	システムコンサルタント・設計者	4.14	3	ハウスクリーニング職	3.78
4	舞踊家、俳優、演出家、演芸家	4.10	4	ハウスクリーニング職	3.69	4	その他の経営・金融・保険専門職業従事者	3.59
5	著述家	3.72	5	ソフトウェア作成者	3.59	5	システムコンサルタント・設計者	3.44
順位	多摩区		順位	麻生区		(注1) 順位は「分類不能の職業」を除く。 (注2) 就業者数が100人以下の区分を除く。		
	職業小分類	特化係数		職業小分類	特化係数			
1	音楽家	6.91	1	舞踊家、俳優、演出家、演芸家	5.64			
2	その他の情報処理・通信技術者	4.51	2	通信機器操作従事者	4.47			
3	システムコンサルタント・設計者	4.02	3	音楽家	4.27			
4	ソフトウェア作成者	3.95	4	その他の情報処理・通信技術者	3.33			
5	舞踊家、俳優、演出家、演芸家	3.65	5	著述家	3.31			

《抽出詳細集計結果について》

※抽出詳細集計結果は、標本によって得られた推計値であるため標本誤差を含んでおり、本市で既に公表している全数集計で得られた報告書の値とは一致しません。抽出方法及び結果の精度については総務省統計局の「抽出方法及び結果の精度」を御参照ください。

問合せ先

川崎市総務企画局情報管理部統計情報課 星野
電話 044-200-2069